M900-562の技法を利用して、ユーザを集めたワークショップにて、プロジェクターを利用して、プロセス機能を調査・確認して、プロセス詳細記述書に記録します。

プロセス構成要素の一部

1. プロセスの目的・機能

【参照モデルの説明】 顧客から提案依頼(RFP)あるいは見積依頼（RFQ)を受領して、目的、技術要求（機能要求、非機能要求）、価格要求、付帯的要求、その受入適合基準、制約条件（品質、コスト、期日）など・・・・。

【ユーザの回答】

RFPや見積依頼を受領する。・・・・かなり省略、基本的には参照モデルと同じ

2. インプット1

【参照モデルの説明】提案依頼(RFP)/見積依頼(RFQ)（顧客）

【ユーザの回答】

・提案依頼(RFP)/見積依頼(RFQ)（顧客）

・書面（多い） or 口頭　　※書面以外にも作業を行う現場の写真、現場見学など

・希望（期待）も入っている

3. コントロール（ルール）

【参照モデルの説明】 提案・見積書作成ルール、顧客チェック基準、チャネル選択基準、RFP/RFQチェック基準

【ユーザの回答】

・顧客チェック基準が個人の判断

・チャネル選択基準は明文化されていない

・RFP/RFQチェック基準は、 納期（標準、特急）、数量、作業内容（重さ、隙間、寸法など）、商品の目的、作業条件・場所　など

この例の所要時間は約20分。